

当社は、新規制基準の枠組みにとどまることなく、引き続き、安全性をより一層高める対策をこれまでと同様に自主的かつ継続的に進めてまいります。今後も、浜岡原子力発電所の安全性、信頼性の向上に努め、当社の取り組みについて、地域をはじめ社会の皆さまにご理解を賜るよう全力で取り組んでまいります。



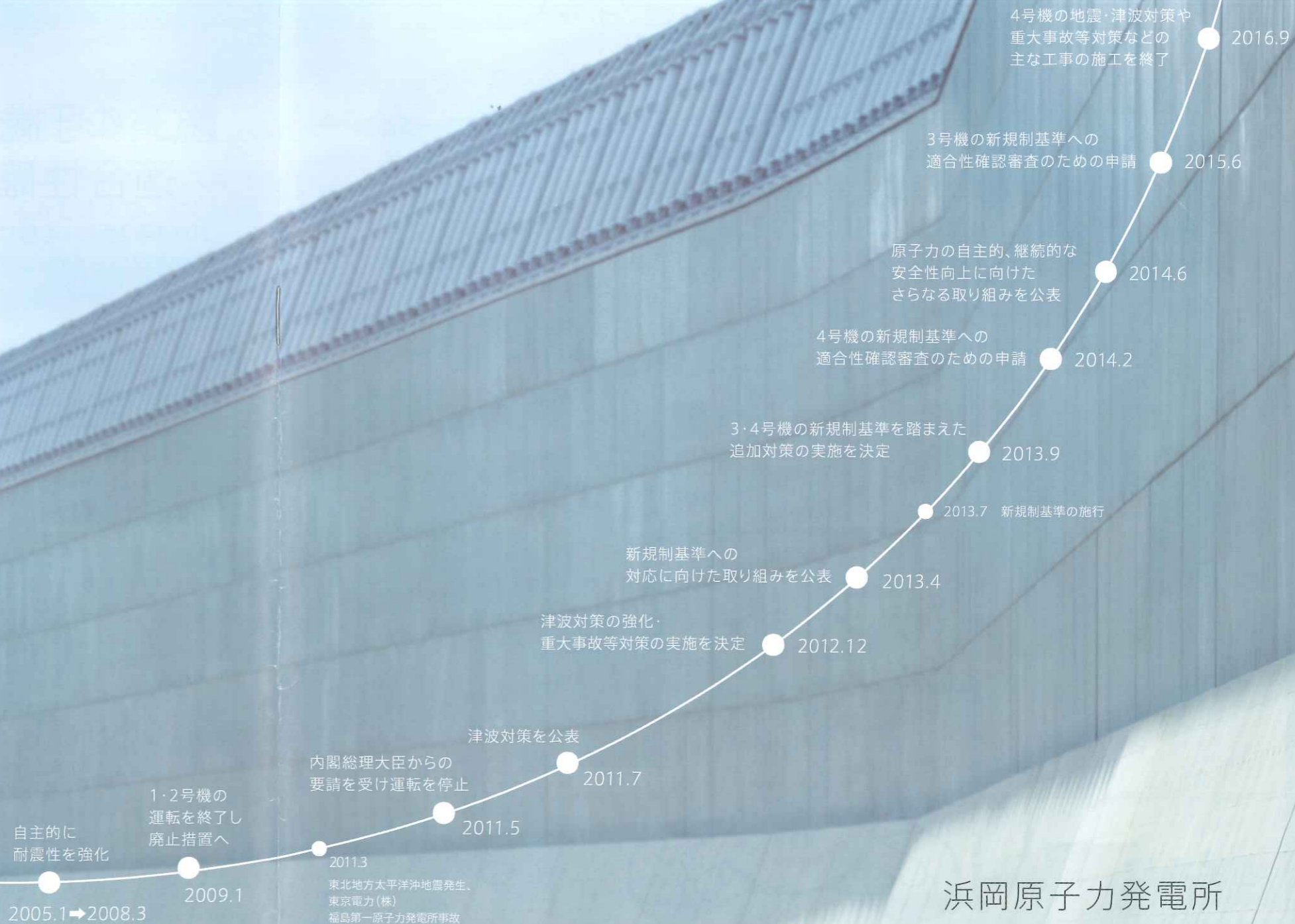
浜岡原子力発電所の概要

| | 1号機 | 2号機 | 3号機 | 4号機 | 5号機 |
|------------|---------------------------|---------------|---|---------------|-------------------|
| 原子炉型式 | 沸騰水型軽水炉 (BWR) | 沸騰水型軽水炉 (BWR) | 沸騰水型軽水炉 (BWR) | 沸騰水型軽水炉 (BWR) | 改良型沸騰水型軽水炉 (ABWR) |
| 電気出力 (万kW) | (54) | (84) | 110 | 113.7 | 138 |
| 運転開始 | 1976年3月 | 1978年11月 | 1987年8月 | 1993年9月 | 2005年1月 |
| 現在の状況 | 廃止措置中 (2009年1月30日運転終了) | | 施設定期検査中・ 安全性向上対策実施中(地震、津波、重大事故等対策など) | | |

中部電力株式会社

〒461-8680 名古屋市東区東新町1番地
TEL: 052-951-8211 (代)
www.chuden.co.jp

総務・広報・地域共生本部 広報制作グループ
2022年7月発行



浜岡原子力発電所
安全性の
さらなる追求



中部電力

むすぶ。ひらく。

1 日本のエネルギー政策の基本方針 S + 3 E

日本のエネルギー政策の基本的な方向性を示す「第6次エネルギー基本計画」が2021年に策定されました。この計画でエネルギー資源に乏しい日本（自給率※：約11%）は、『安全性』を大前提に、『環境保全』・『安定供給』・『経済性』を同時に達成する「S + 3 E」を基本方針にエネルギー政策を進めていくとしています。

日本のエネルギー政策の基本方針： S + 3 E



安全性が大前提

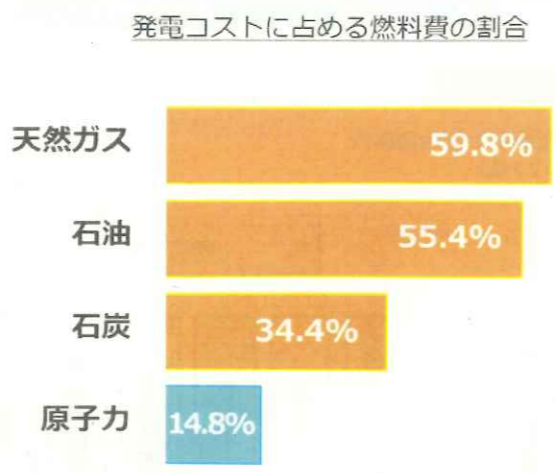
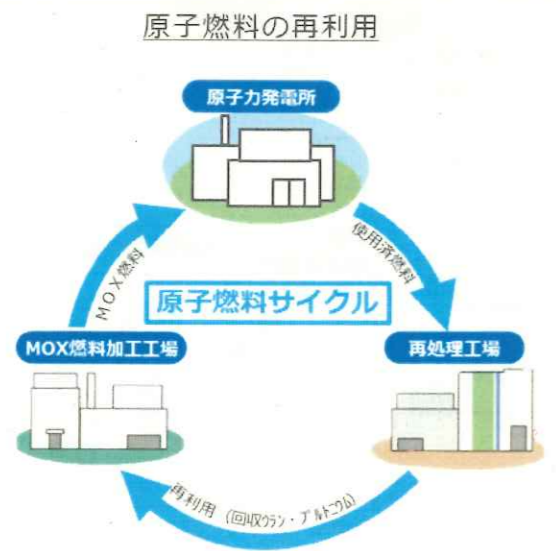
原子力発電は、事故が起きた場合の影響が非常に大きいため、徹底した安全性の確保が必要となります。

※ エネルギー自給率
国民生活や経済活動に必要なエネルギーのうち、自国内で産出・確保できる割合（2020年度：11.3%）

2 原子力発電の利点（安定供給・経済性）

政情の安定した国々から輸入できる原子力発電の燃料は、少量でたくさんの電気を安定的に供給することができ、使用を終えた燃料は再利用をすることができます。

化石燃料価格が高騰し、近年では電気料金の上昇が生じています。原子力発電は、火力発電に比べ発電コストに占める燃料費の割合が小さいため、燃料価格の高騰が生じてても、原子力発電の電気は電気料金上昇への影響は小さいです。



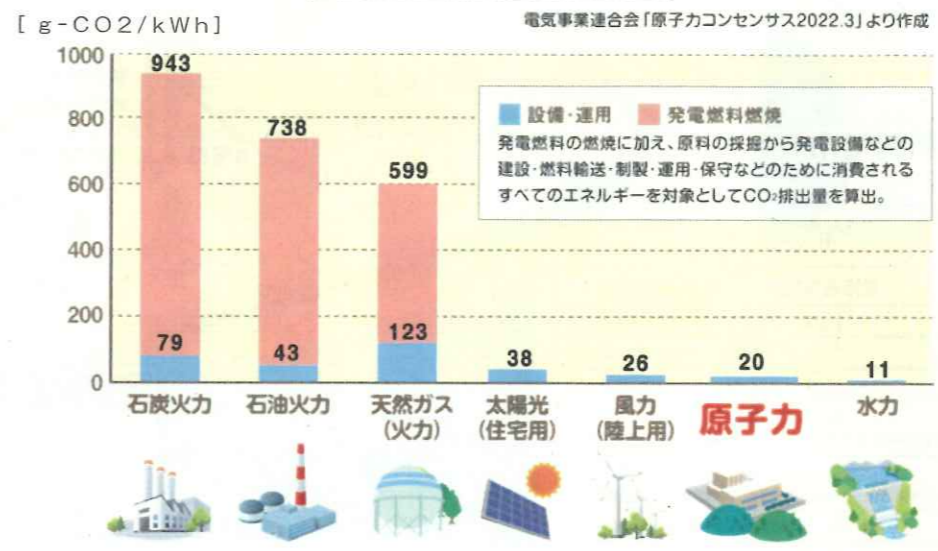
出典：経済産業省「基本政策分科会に対する発電コスト検証に関する報告 2020年の電源別発電コスト試算の結果」

3 原子力発電の利点（環境適合）

世界の気温上昇に歯止めをかけるため、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」に向けた取り組みが世界的に広がっています。

太陽光や風力発電と同じく発電時にCO₂を排出しない原子力発電の再活用に向けた動きが世界的に広がっています。

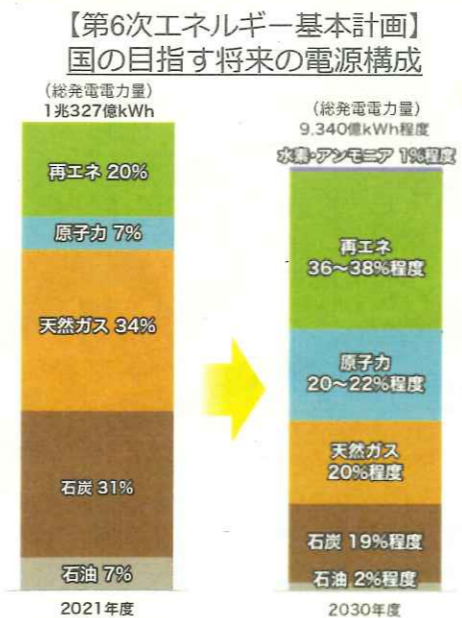
各種発電方法のCO₂排出量



4 日本が目指す電源構成～エネルギーミックスの実現～

日本では、「S + 3 E」の達成のために、各エネルギーごとの強みを発揮し、弱みを補完するバランスの取れた『エネルギーミックス』の確実な実現を目指しています。

当社としても、発電時に二酸化炭素（CO₂）を排出せず、経済性・安定供給に優れた原子力発電を安全性を大前提に活用したいと考えています。



「S + 3 E」を達成するためには
いろいろな発電方法をバランスよく
組み合わせ、補完しあう
『エネルギーミックス』が
必要となります。

原子力発電の位置付けは
「重要なベースロード電源」

出典：資源エネルギー庁「日本のエネルギー 2022年度版 エネルギーの今を知る10の質問」

◆◆◆浜岡原子力発電所の概要◆◆◆

1 浜岡原子力発電所 1～5号機

浜岡原子力発電所は静岡県御前崎市（旧浜岡町）に位置しています。
 1～4号機は沸騰水型軽水炉（BWR）、5号機は改良型沸騰水型軽水炉（ABWR）です。
 1,2号機は廃止措置中、3,4号機は適合性確認審査中、5号機は適合性確認審査の申請準備中です。



2 浜岡原子力発電所の特徴

浜岡原子力発電所には2つの特徴があります。

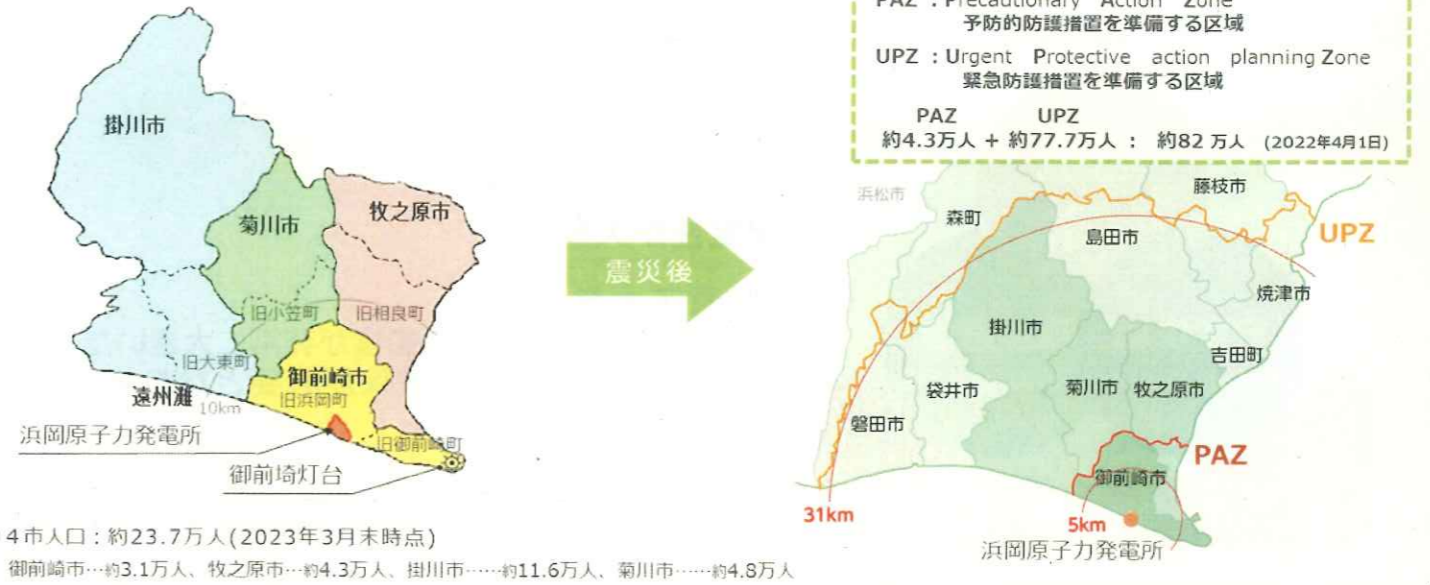
- 日本でも唯一、原子力発電所敷地前面に専用の港がありません。このため、大型機器等は発電所と御前崎港との間を陸上輸送します。
- 発電のためタービンを回した蒸気を間接的に冷却するための海水は、沖合600mに設置した取水塔から取り入れます。



3 浜岡原子力発電所の安全協定

当社は、震災前より御前崎市をはじめ牧之原市、掛川市、菊川市ならびに静岡県と「安全協定」※を結んでいます。
 震災後の2016年には、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、袋井市、吉田町、森町ならびに静岡県とも「県・5市2町の安全協定」を結んでいます。

※ 自治体と当社が発電所周辺の環境の安全を確保することを目的として締結している協定



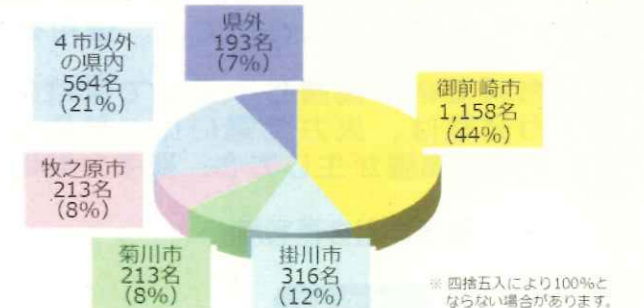
4 浜岡原子力発電所で働く従業員

発電所で働く従業員は協力会社含めて約2,700名です。

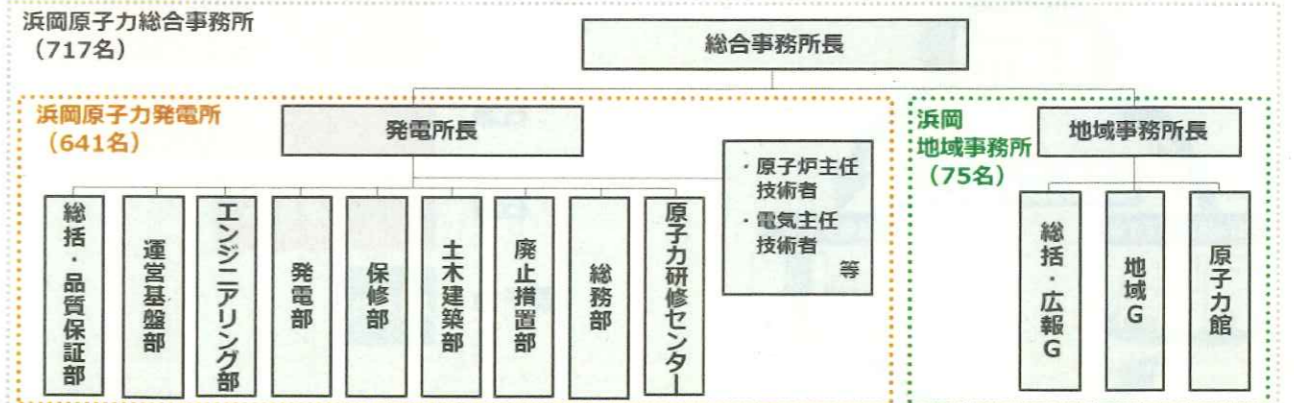
発電所で働く従業員

| | |
|----------|---------------|
| 中部電力 | 717名 |
| 協力会社 | 1,940名 |
| 計 | 2,657名 |

(2023年6月1日)



発電所の組織図



・2012年7月1日より、原子力安全技術研究所（本店技術開発本部所属）を発電所構内に設置